2011年1月 4日

2011年 社長（古関 信）年頭挨拶について

記者各位

明けましておめでとうございます。1月4日（火）に行われた、当社社長、古関 信の当社社員に対する年頭挨拶の要旨を、下記の通りお知らせいたします。

記

1．2010年を振り返って

資源開発事業環境は、エネルギー需要が急増する新興国の積極的な資源獲得の動き、資源ナショナリズムの高揚、開発にかかわる規制強化に起因するコスト上昇等、依然として厳しい状況が続いている。

こうした厳しい環境の中で、我々JX開発は、JXグループの中核事業会社として新たなスタートを切った。統合初年度の昨年は、既存プロジェクトを順調に推進するとともに、新たな事業機会への参入に向けた検討を開始するなど、将来の成長への足がかりとなる成果をあげることができた。社員間の融和と合わせて、非常に順調な船出ができたと感じている。

2．新年を迎えて

今年は、JXグループ中期経営計画の2年目にあたる。当社は、JXグループの成長戦略を担う中核事業会社として常に成長を目指し、積極的な事業展開により、JXグループの企業価値向上に貢献することが使命である。昨年の勢いをそのままに、また、この統合前後に培ったチームワークをさらに強固なものとしながら、将来の成長につながる新たな事業の実現に向けて挑戦し続けていただきたい。

石油開発事業では、現状に甘んじて立ち止まることは許されない。持続的な成長・発展のためには、リスク管理を徹底しながら常にチャレンジし続けることが不可欠である。まずは、中期経営計画でも目標として掲げている、既存プロジェクトの価値最大化に加え、成長の基盤となる探鉱事業の推進に全力を傾注したい。このためには、効率的な技術の導入や新技術へのチャレンジとともに組織間のコミュニケーションが大切である。加えて、操業現場には、安全第一で操業にあたっていただくことを何よりもお願いしたい。

当社の将来の成長・発展の鍵を握るのは、人（社員）であり、常に自らを高める意識を持って仕事をしてほしい。社員の高い意識と向上心、それに基づく行動力が当社の将来にわたる持続的な成長の原動力になるものと確信している。

以 上